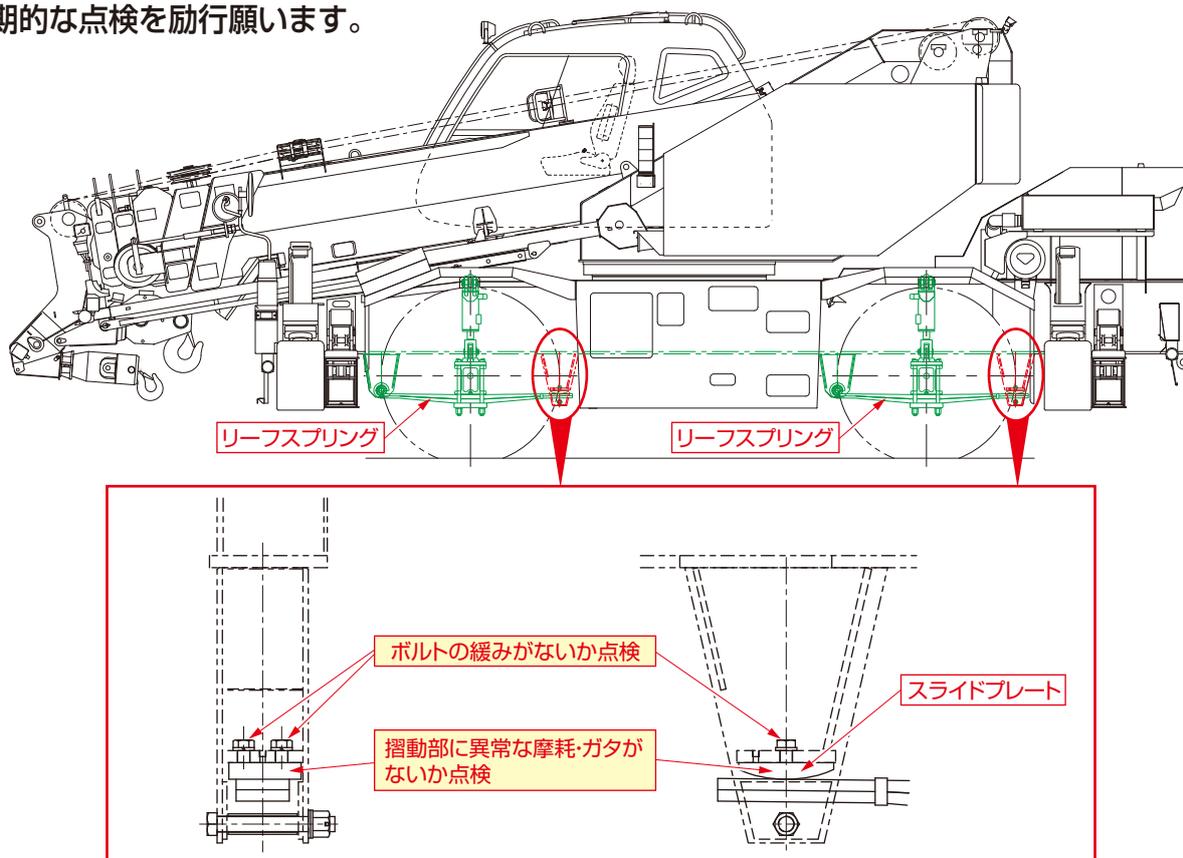


リーフスプリング式サスペンションの点検について

リーフスプリング式サスペンションを採用している機種において、長期間の使用によりスライドプレート取付ボルトに緩みが発生し、スライドプレートが脱落する事例が発生しています。

リーフスプリングは、走行時に車体を支えている重要な部品であり、走行時の振動やグリスの給脂状態等の影響により、各部ボルトの緩みや摺動部の摩耗・ガタが発生します。

リーフスプリング取付部は、3ヶ月および12ヶ月毎の点検に指定されていますので、各部ボルトや摺動部の定期的な点検を励行願います。



※各部ボルトの緩みおよび摺動部の摩耗・ガタについて点検してください。

点検の結果、異常があった場合はタダノ指定サービス工場で修理してください。スライドプレート取付ボルトにはネジロック剤が塗布されています。

※イラストはGR-160N-2を参考として掲載しています。モデルにより形状は異なります。

<リーフスプリング式サスペンション採用機種>

GR-120N-2, GR-120F-2, GR-120NDW-2, GR-160N-2

GR-120N-1, GR-120F-1, GR-160N-1, GR-180N-1

TR-100M-1, TR-160M-3

TR-80M-1, TR-160M-2, TR-200M-4, TR-250M-5, TR-350M-2, TR-500M-2 以前のモデル

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ サービス企画部作成